

兵庫 兵庫 兵庫 版 日本の息吹

第一九〇号平成二九年（皇紀二六七七年）八月二〇日号
 日本会議兵庫県本部事務局
 六五〇・〇〇一五 神戸市中央区多聞通三・一・一
 兵庫県神社庁内（〇七八・三四一・一一四五）
 https://www.nipponkaigihyogo.org/
 nipponkaigihyogo@gmail.com



【兵庫県本部総会】



七月一七日（海の日）、日本会議兵庫県本部の総会と講演会が西脇市で開催されました。今年から県下各支部のある地域で開催することになり、最初に北播磨支部が選ばれ、西脇市で開催することになりました。これまで準備会議を重ね、会場設営、総会資料の作成などを県本部、北播磨支部のスタッフで行

いました。第一八回総会は一、二時から西脇市民会館中ホールで開催され、県下各地域から約二〇〇名の会員が出席しました。片山象三西脇市長、谷公一衆議院議員ら国会議員、森脇保仁兵庫県会日本会議議員連盟会長はじめ多くの県会議員、神戸市会議員、北播磨各市町の議会議員らが来賓として出席されました。また会場には、加東市から市議会議員さんをはじめ、神道関係者、自民党、日本会議の会員の皆さんらも出席しました。



二時一〇分から大ホールで竹田恒泰氏の講演会が行われ、会場は約五五〇名の参加者がありました。竹田氏は「神代からつながる日本のかたち」と題して、天皇、憲法、国政、外交などを話題に挙げながら、日本人の精神性やあるべき姿について、ユーモアを交えながら話されました。会場からの質問にも丁寧に答えて下さいました。



会場では「ありがとう自衛隊」の全国キャラバン隊の報告呼びかけも行われました。

《 8月下旬以降の日本会議兵庫関連団体の主な催物 》

- 8月26日(土) 13時半 中・西播磨支部総会(記念講演 齋藤勉氏(産経新聞社副社長 姫路護国神社 1,000円)
- 9月2日(土) 14時 中・西播磨支部学習会【近代日本の人物に学ぶ 本多光太郎(金属学者) 講師 堀 隆一氏(会員)】(姫路護国神社 600円) 上記ととも FAX 0792240885
- 9月10日(日) 14時 東播磨支部総会 (記念講演 大高未貴氏 グリーンヒルホテル明石 1,000円) FAX 0789201141
- 9月15日(金) 17時 美しい日本の憲法をつくる会兵庫総会 (記念講演 井上和彦氏 神戸産業振興センター 1,000円) FAX 0783716015
- 10月21日(土) 11時 淡路島支部 第23回全国戦没学徒追悼祭 (8時半 湊川神社からバス 3,000円(要申込)) 0799805001
- 11月18日or25日(土) (日程調整中)14時 三島由紀夫・森田必勝両烈士四十七年祭 (長田神社 1,500円 50名限定 記念講演;講師未定)
- 12月上旬(日程調整中)神戸支部設立総会(記念講演;講師未定)

四時三〇分から行われた懇親会にも約一二〇名の出席があり、竹田氏を囲んで、会員相互の懇親、各支部の交流が深められました。

北播磨支部が産声をあげたのは平成二四年一月八日。「日本のヘソ」から誇りある国づくりをめざして活動に取り組んできました。そして、今回、県本部の総会・講演会を北播磨支部で開催することができ、多くの皆さんに参集いただくことができました。これを契機に、これからも一層草の根国民運動にしつかりと取り組んでいきたいと思えます。スタッフの皆さん、参加して下さいた多くの皆さんに感謝しながら決意を新たにしました。

(北播磨支部長 藤本百男)

憲法改正

成功させましょう！

【阪神北支部

定時総会を終えて】



去る七月二三日(日)宝塚市

共同利用施設南口会館にて、阪神北支部の今年度の定時総会が開催された。暦の上では大暑で前日までの猛暑を案じたが、幸い曇りがちで、多少しのぎ易く感じられた。遠近より約八〇名の方々にご参集

頂き、三木英一会長様他御来賓、支部関係者列席のもと前年度の事業並決算報告、又本年度事業計画案並予算案の承認が行われた。

記念講演会には、大の親日・知日家で外交、安全保障、防災減災対策、危機管



過去の災害を風化させる事無く、その教訓を大切にしながら、さらに想像力を駆使して新たな状況にも対応出来るよう研鑽する、これは国、自衛隊、米軍、地方自治体のみでは無く、一般市民一人ひとりが有事に被害者に成らない様心掛ける必要が有る事を教えられた。

先生は東日本大震災のお話に及んだ時、声を詰まらせ涙で先へ話を進める事が出来ずにおられた。アメリカ人でありながら、これほど日本を憂い、いつかは起こるであろう大震災を心配されていることに感謝申し上げると共に、温かい心と奥の深い人間愛に触れた事がとても嬉しかったです。

他にもお聞きしたい事項が一杯有り、ぜひまた次の機会にお話しを伺いたいと思う。

(阪神北支部事務局長

金岡俊彰)

理、人道支援、災害活動、沖縄問題等幅広い分野に見識を持たれる、ロバート・D・エルドリッチ先生を招き「次の大災害に備えるために」―「トモダチ作戦」とその後の教訓―と題して講演願った。